

# 令和5年 年頭にあたり

幌延町農業協同組合  
代表理事組合長 無量谷 稔



新年明けましておめでとうございます。

2023年新春を組合員皆様と共に迎えられましたことは、慶びに堪えない次第であります。

新型コロナウイルス感染症が発生してから既に3年が経過しました。この間、組合としては感染が拡大しないように対策を取って参りましたが、職員あるいは組合員皆様にも感染が拡大してしまい、大変申し訳なく思っております。現在日本中で10万人近い感染者が出ていますが、以前とは違い外出の制限などがなくなり、経済優先の対策に変わって来ております。ワクチン接種も5回目が始まり、また治療薬も出てきております。現在新型コロナウイルス感染症の扱いが第2類から第5類への変更も視野に検討がなされている所ではありますが、引き続き感染症対策を取りながら進んで行きたいと思っております。

今年の酪農情勢は、我々が経験した事がないような状況でありました。北海道の生乳生産抑制策が始まり、搾りたくても搾れない状況になりました。そんな中で以前から高値で推移しておりました配合飼料が10万円に手が届く所まで高騰し、私共の経営を大きく圧迫しました。燃料費、電気代、肥料代、生産資材費等どれを取っても前年より大幅に値上がりし、経営が成り立たない状態であり多くの組合員の皆様が大変な苦勞をされたと思えます。そのような状況に置いてしまった事に、大変申し訳なく思っております。そのような状況を打破すべく、指定団体でありますホクレンを通じ乳価の期中改定を6月から進めておりますが、未だ決定に至っていない事は誠に遺憾であり、物価高の価格転嫁を生産者だけが出来ないと言うのは許し難い事でもあります。一刻も早い妥結をして頂くよう系統団体を通じ進めて参りたいと思っておりますので、組合員皆様の御理解と御協力をお願い致します。また、本年令和5年の補給金を含む関連対策5円程度のアップも現在進めておりますが、中々国の理解が進まない状況にあります。この便りが皆様の所に届く頃には決定していると思っておりますが、組合員皆様が安心して経営出来るよう現在頑張っている所であります。

当地域の情勢ではありますが、一昨年に続き好天に恵まれ良質な粗飼料が確保出来ました。デントコーン等は干ばつや鹿の食害等の影響がありましたが、一定程度の収穫は確保出来たものと思えます。数戸の離農がありましたが、昨年を上回る生乳生産をしていただき、改めて感謝申し上げます。懸念材料は昨年7月に市場価格が大幅に下った畜産物価格であります。農協の年度末に向けてどのような状況になって行くか気がかりであります。皆様の益々の御協力を頂けますようお願い申し上げます。

まだまだ世界情勢が混乱している所ではありますが、組合員皆様と共に力を合せこの難局を乗り越えて参りたいと思えます。今後とも役職員一丸となり負託に応えられるように努力して参ります。

本年も組合員皆様の健康と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。